

コロナのおかげで見える優しさ

コロナ、コロナ・・・で振り回された3か月ですが、児童を学校に迎え入れるためには、他の準備も必要になってきます。使っていなかったところは、どうしても気が回らなくなり、児童が踏まないグラウンドやその周辺も雑草だらけになりました。

そんな状況を心配していただき、学校に声をかけてくださる地域の方がいます。

Aさんは、学校周辺の草刈りとグラウンド内の除草をしてくださいました。Sさんは、児童が使う畑を耕運機で耕してくださいました。帰り際には「いつでも言ってよ!」と声をかけてくださいます。大変にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。



草刈りをさせていただくAさん



きれいになった給食搬入口

学校の中で最も大事な場所の1つが、いつの間にか除草され、きれいになっていました。児童の皆さんの給食を搬入するところです。伸び放題の雑草には、虫がわいたりカビがついたりします。草を刈っていただいたところが、給食の搬入口であることをご存じだったのでしょいか。どなたがやっていたのか、分かりません。人の優しさ、有難さが身に沁みます。

自分のことはさて置いて、一番困っている人のためにと行っている人の報道がされています。コロナのおかげで、人の優しさや強さを感じるこの頃です。自分では、なかなかできることはありませんが、せめて今は、もうすぐ会える子どもたちのために、自分でもできそうなことを一生懸命に考えて行動に移したいと強く思います。

地域の人や先生たちが刈ってくださった雑草を、トラックいっぱい、処分してきました。

